《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	英語コミュニケーション概論				
担当者氏名	ビル　ロッケンバッハ				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○　専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎　専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》
映画、ニュース番組、教育環境（教室）等の例を「当場面でコミュニケーションが成立したかどうか」の観点から細かく分析し、それの改善方法を考えてロールプレーなどで再現する。

《授業の到達目標》
中級以上のレベルの受講者が、初級の英語学力では上手く対応できない込み入ったコミュニケーション場面で当てはまる話術テクニックを身につける。

《成績評価の方法》
・授業への参加姿勢（受講態度）…20%
・平常点（小テスト、提出物）　…40%
・期末テスト　…40%

《テキスト》
無し。

《参考図書》
適宜紹介する。

《授業時間外学習》
予習として、その授業のトピックとなる背景を調べておく。復習として、授業で使われる文章の単語の意味と各文の構成を確認する。

《備考（教員経験の有無）》
「授業計画」は「英語の仕事術グローバル・ビジネスのコミュニケーション」（小学館出版）に出ているテーマを使った授業の展開例である。ニュース番組、映画シーン等も平行に使われる

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	英語コミュニケーション	「聞こえる」と「聴く」の違い、聴くことを妨げるものについて
2	英語コミュニケーション	積極的に質問をすることについて
3	英語コミュニケーション	人前でのプレゼンテーション
4	英語コミュニケーション	聴衆を理解する技術（分析）
5	英語コミュニケーション	インパクトのある出だし（工夫）
6	英語コミュニケーション	分かりやすい構成
7	英語コミュニケーション	効果的なまとめ方
8	英語コミュニケーション	プレゼンの実施と資料の使い方について
9	英語コミュニケーション	電話会話の特徴
10	英語コミュニケーション	グローバル会議で生じる問題
11	英語コミュニケーション	合意を得るための段取り
12	英語コミュニケーション	生じた問題の解決法
13	英語コミュニケーション	コンフリクト（意見衝突）の原因（部類）
14	英語コミュニケーション	コンフリクトの解決法
15	まとめ	まとめ（総括）